

2023年度（令和5年度）事業報告書

2024年4月

公益社団法人こども環境学会

2023年度（令和5年4月1日より令和6年3月31日まで）に次のような活動を実施しました。

記

①（公1）教育・啓発事業

A 大会の開催 沖縄県 2023年7月7日（金）から7月9日（日）までの3日間）リアル開催で実施
テーマ「地域に生きるこども」

- ・エクスカーション：①沖縄島北部のやんばる世界自然遺産や施設を巡るコース ②沖縄県中南部の建築と歴史文化を巡るコース を開催した。
 - ・基調講演 講演①「子どもの視点から本土復帰50年を振り返る」山内 優子（社団法人おきなわ子ども未来ネットワーク代表理事）講演②「地域と子ども」大城 和喜（元南風原文化センター館長）を開催した。
 - ・シンポジウム <コーディネーター>清水 肇（琉球大学工学部教授）<パネリスト>汐見 稔幸（東京大学名誉教授）山城 康代（一般社団法人りあん 代表理事・みどり町児童センター館長）盛口 満（沖縄大学人文学部教授）<コメンテーター>木下 勇（大妻女子大学社会情報学部教授・千葉大学名誉教授）を開催した。
 - ・分科会 ①こどもの発達と環境：地域文化から子どもの育ちと行事を再考する ②生活の場としての居場所施設のあり方 ③地域の居場所としての遊び場づくり ④こどもと環境（自然・人・もの）をつなぐ をテーマに開催した。
 - ・ワークショップ ①創造性を育む造形遊び・場づくり～竹&輪ゴムチャレンジ ②然体験活動に絵本の読み聞かせと創造的活動を取り入れたワークショップ を開催した。
 - ・ポスターセッション、口頭発表 を開催した。
- ※大会参加者数：388名 会員150名、学生会員24名、会員外学生29名、一般42名、沖縄県民79名、こども6名他

B セミナー、シンポジウムの開催

- ・合同セミナー：2023年9月30日（土）、2023年10月1日（日）に龍谷大学（京都市）で開催した。
テーマ「こどもを地域で育てる」基調講演 幸重 忠孝（NPO 法人こどもソーシャルワークセンター代表）
シンポジウム<コーディネーター>浦田 雅夫（京都女子大学、NPO 法人子どもセンターののさん理事）
<パネリスト>宇野 哲哉（浄土真宗本願寺派 社会部人権問題担当・門信徒教化部 部長 滋賀教区 野洲組 覚明寺 住職）五味孝昭（京都市子どもはぐくみ局 子ども若者未来部子ども家庭支援課 課長）幸重 忠孝（同上）
を実施した。参加78名。エクスカーション：旧三井家下鴨別邸、下鴨神社で実施。参加21名。
- ・こども環境学会 2024年20周年記念全国大会プレ・セミナー（石川）
テーマ「本に囲まれた子どもの育ち」2023年12月9日（土）に石川県立図書館（石川県金沢市）で開催した。
主旨説明 三輪律江（横浜市立大学）挨拶 田村俊作（石川県立図書館）基調講演 仙田 満（こども環境学会代表理事／東京工業大学名誉教授）まとめ 大西宏治（富山大学）現地見学 を実施した。

- ・こども環境学会 2024年20周年記念全国大会プレ・セミナー（豊田）
テーマ「SDGs（持続可能な開発目標）とCFCI（子どもにやさしいまちづくり）」2024年3月16日（土）に豊田市青少年センター交流室（愛知県豊田市）で開催した。オンライン（ハイブリッド）開催。
問題提起①『国際化の中の子育ち・子育ての地方自治施策としての子どもにやさしいまちづくり』木下勇（大妻女子大学 教授）問題提起②『2030年までの道筋：地方自治体 SDGs（持続可能な開発目標）達成度評価 2023』遠藤和重（国連地域開発センターUNCRD 所長）ディスカッション『SDGs と子どもにやさしいまちづくりを豊田市で展開するには？』木下勇（コーディネーター）泉川雅子（国連地域開発センターUNCRD）宇佐美由紀（豊田市こども・若者政策課）筋生田和哉（豊田市子ども会議子ども委員）を実施した。

C 広報活動

- ・本会の活動に関する学会誌3回を発行した。発行部数1回につき約1,200部。
- ・ウェブ・サイトの管理、サイトのリニューアルを行った。メールマガジン（サイト上にウェブマガジン）の発行を行った。

D 災害等復興支援活動

・2024年1月発生の令和6年能登半島地震に関して声明および子ども関連支援情報をホームページより発信した。
また、防災学術連携体とも連携し特設ウェブページでも発信した。

E 福島県からの受託事業

・令和5年度の「ふくしま保育環境向上支援業務」を受託し、令和2年度から令和4年度までの当該業務実施により得られた知見や効果を取りまとめ「ふくしまスケール」を策定し、県内の保育施設等の共有し活用を図る活動を行った。

F パンフレット、書籍出版活動

・発行物の刊行に関して研究等の成果のとりまとめ、編集を行った。
サイト上にウェブマガジンの掲載を行った。

② (公2) 研究・評価事業

・子ども環境に関する研究活動、評価を行った。設置されている研究会：
災害復興支援・学術連携研究会、立体的居住・高層居住におけるこどもの成育研究会、情育環境研究会、子ども環境研究会北海道、北陸子ども環境研究会、東海子ども環境研究会、子ども環境研究会関西、あそびをせんとや生まれけむ研究会、上記の研究会にて研究、調査等を行った。

- ・研究・評価事業に関連し、学会誌、合同セミナー、プレ大会等で発表した。
- ・子ども環境研究センターにて、研究活動を実施した。
- ・査読部会にて、論文の査読を行った。人数20名、査読された論文本数 11本。

③ (公3) 資格認定、顕彰事業

A 子ども環境アドバイザー資格の認定

(子ども環境の知識、経験、ノウハウ等を持つ者に対して本会独自の資格を設け、認定する。)

第16回子ども環境アドバイザー資格講習会

2024年3月2日(土)に、明晴学園(東京都品川区)及びオンライン(ハイブリッド)で開催した。

資格認定参加者は全員で24名(新規受講22名、再受講1名、聴講1名)、2023年度中の新規認定者は10名。

B 子ども環境学会賞の公募

(子ども環境の発展に寄与する、優れた論文・著作、デザイン、活動、自治体施策に対し、専門家による選考委員会の審査を経て顕彰する。)

今年度は、応募締切の2023年11月末までに論文・著作賞12件、デザイン賞2件、活動賞5件、自治体活動施策1件、合計20件の応募があった。

選考委員による厳正な審査の結果、論文・著作賞2件、論文・著作奨励賞2件、デザイン賞1件、デザイン奨励賞1件、活動賞1件、活動奨励賞1件、自治体施策賞1件、自治体施策奨励賞0件、以上合計9件が選定されました。

表彰式は、2024年6月の子ども環境学会20周年大会記念全国大会(会場:東京都)にて行う。

(氏名は敬称略) 以上